



NPO PTPL “ともいき” 便り No.77

平成 27 年（2015 年）6 月 6 日発行

■ 芒種（ぼうしゅ） 6 月 6 日から 6 月 21 日までの節気

「芒種」の「芒」は「のぎ」と読み、稲や麦などの実の外側についているトゲトゲのことです。「種」はタネ、二つあわせて、「芒種」は「芒」のついた稲や麦などの「種」をまくころという意味です。梅雨に入り、農家の人たちは田植えの忙しい時期を迎えます。

芒種の節気はどうしても梅雨の話題が多くなりますね。

● 雑節「入梅」

立春から数えて 127 日目が入梅ですから陽暦に直すと 6 月 11 日、12 日ごろにあたります。

古くは芒種後の最初の壬（みずのえ）の日とされました。

壬の日が選ばれたのは陰陽五行説で、壬は水の気の強い性格とされたからで、多少こじつけっぽい理由です。

現在の方法だと、東海・関東地方の梅雨入りの平均に、ほぼ合っていて、ある程度合理性を持っています。

したがって、平均値だと思って見れば、暦の上の入梅も雑節として記載されている意義があるわけです。

暦の上に「出梅」は記載されていませんが、「入梅」があるのだから当然「出梅」もあります。

これは古くは小暑後の壬の日とする説と、夏至以降の庚（かのえ）の日とする説とがありました。入梅の語源は、梅の実が熟する頃に雨季に入るところから来ています。

● 梅雨の季語 2 題

（「ともいき暦」季語より <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>）

①梅雨寒(つゆさむ)

太平洋から張り出してくる暑い気団と、北方の寒冷気団のせめぎあいが梅雨前線ですが、時には、弱いはずの寒冷気団が勢力を盛り返してきますと、梅雨寒になります。

そんなことになると途端に火が恋しくなったり、暖かいものを食べたくなくなったりします。

体調を崩すのもこんな時期ですし、梅雨寒が長く続くと冷害の心配もまた出てきます。

②梅雨の月(つゆのつき)

どの歳時記を開いても、雨や曇天の続いた後の晴れた日の月と書き、「思いがけず」に出会った月と解説しています。

これも正しいのですが、日本人には、雨のため見えないつきに心を寄せていく雨月(うげつ:秋の季語)という発想もあります。

不思議なことに、陰暦五月の異称が雨月なのです。

この月は暦の月であると同時に、ムーンの月ととると、「梅雨の月」のイメージも膨らんでいきます。

西行が借りた宿の、姥(おうな)が月を賞(め)で、翁(おきな)が雨音を好むという能の「雨月(うげつ)」さえ思い出されてきます。

梅雨というとどうして「ジメジメ」「ムシムシ」としたうっとうしい日が続きますが、作物にとっては恵みの雨。たまには雨の日に出かけてみてはいかがですか。雨にぬれたアジサイの鑑賞はこの時季ならではの感じさせてくれます。梅雨時期は体調を崩しやすいので、皆さま、くれぐれもお身体ご自愛ください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

「オノマトペ」ってな～に。

オノマトペはフランス語。生きものや事物の立てる音をあらわす「擬音語」と様子や動作、感情をあらわす「擬態語」に分かれます。

オノマトペは日本語に特に多く、英語圏が約 200～300 語ぐらいに対して日本語のオノマトペは約 1500～2000 語と推察されます。

また、「し～ん」、「ドキドキ」、「うっかり」など感情や様子を音に表現する「擬態語」の数が多いのが特徴です。

もともとないもの、目に見えないものまで敏感に感じ取り、描き出そうとする日本人の傾向がよくあらわれているのではないのでしょうか。

『ほんとうの「和」の話』著者：広田千悦子（榊文芸春秋より）

- 豊かな五感であらゆるモノを観察、観賞、表現してきた日本人。人と人、人と自然の「ともいき」が生んだ言葉の国、日本。
- 「ムンムン」「ムシムシ」「汗、グッショリ」の季節がやってきます。くれぐれもお身体お厭いください。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●NPO PTPL は、21 世紀に生きる日本人にとって、最も大切な価値観と考える「ジャパネスク」・「ジャパネスク運動」の活動を開始いたしました。

少しでも多くの方々に「ジャパネスク運動」を知って、理解して、協力していただきたく、ぜひ、皆さまの知人、友人に、このサイトならびにフェイスブックをご宣伝いただきたくお願い申し上げます。

あわせて、NPO PTPL の個人会員として入会していただき、ご支援いただければ幸甚です。

ジャパネスク <http://japanesque.tokyo/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/japanesque.tokyo>

●私たちと一緒に NPO PTPL の活動について話し合いませんか？

私たち NPO の活動の柱である「ともいき」と「ジャパネスク運動」「おらが富士」にご興味、ご関心のある方、私たちの事務所で気軽に話し合っ、皆さんのご意見、ご感想を活動に反映したいと考えています。お一人でもお仲間連れでも歓迎いたします。そして私たちの活動の支援の輪を広げてまいりましょう。

ぜひ、事務所の近くにお越しの際、お気軽にお立ち寄りください。

ただし、お越しの際は必ず事前にご連絡ください。極力ご都合におあわせしたいと考えています。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp